



## ■プロジェクト名称

# 意識改革プロジェクト ～団地サテライトラボ～

## ■プロジェクト活動概要

本プロジェクトでは、学生たちが主体的に活動を行う場所や活動自体の支援を行うことを目的としており、団地にサテライトラボを設置することで、学生たちが大学以外でフィールドワークを行う支援をしていきたいと考えている。

日本では近年高齢化が加速しており、UR 住宅団地でも高齢化が急速に進んでいる。私たちは介護を必要とせず、健常で自立した生活を送る高齢者を増やすために、高齢化が進む UR 住宅団地（原市団地、尾山台団地）を対象に健康まちづくりワークショップを立ち上げ、UR 都市再生機構、都市設計工房、大学、両団地で昨年度から活動を行い、両団地の高齢者を対象に外出促進させるために様々なアクションを起こし活動してきた。

これらの学生活動を団地全体の活性化への手助けとすることで、団地に住んでいる高齢者支援につなげていく。サテライトラボがあることで今まで以上にコミュニケーションを図ることができ、今まで以上に団地住民の方と学生が密接に関わるため、良い関係性を築き上げていくこもできる。

## ■活動状況報告&活動写真など 活動期間：2013年6月 日～9月30日

夏季休暇中に本プロジェクトの学生が活動の対象としている原市団地の一室に引っ越し、住居型のサテライトラボを設置した。原市団地のオーナーである UR 都市機構、都市設計工房の方々からの期待も大きく寄せられており、活動を支援してくださっている。

学生が高齢化の進んでいる原市団地に住むことで、前期としては自治会等のサポート・住民へのヒアリングを通して地域住民から信頼を得、プロジェクトの周知や地域住民とのネットワーク基盤の構築を目指した。

このプロジェクトが採択され10月5日までの間に以下の活動を行った。

### 1. 団地活動の支援 学生プロジェクト申請前からの継続活動（ウォーキング活動・コミュニティガーデン活動）

#### ○ウォーキング活動

- 活動日 ①6月22日 東大宮親水公園  
 ②7月13日 原市沼ハス  
 ③9月27日 自然観察



ウォーキング活動の様子

## ○コミュニティガーデン活動

- 活動日 ①6月 7日 ハーブ植栽  
②7月 12日 寒冷紗設置  
③7月 30日 ドライフラワー&ハーブ教室  
④9月 3日 藍染教室

7月30日と9月3日は目白大学からNHK趣味の園芸講座でご活躍されている大出先生を講師としてお招きし、ハーブの植栽や団地内教室のお手伝いを行った。



コミュニティガーデン活動の様子

## ○健康体操

健康体操は今年度から新たに始めた活動である。国士舘大学から講師の方をお招きし、約1時間タオルを使ったり、椅子に座りながらできる体操を教えて頂きながら体を動かした。

- 活動日 ①7月 24日  
②8月 28日  
③9月 25日



健康体操の様子



## 2. 学生活動の支援

### ○原市団地祭

8月24・25日、原市団地で行われたお祭りにプロジェクトとして参加し、一つのテントをお借りして芝浦工業大学のブースを設置した。芝浦工業大学生に活動の場所を提供するという目的から、そのブースでは本プロジェクトで商品を販売するだけでなく、芝浦工業大学のジャグリング・手品サークル「Shangri-La」のみなさんに出演依頼を行い、パフォーマンスと風船の販売を行っていただいた。パフォーマンスにはたくさんの方が集まり、団地の子供から大人までが楽しんでいた。

#### (1) 本プロジェクトによる祭りの参加・手伝い

##### ①会場及びテント設営の手伝い



##### ②芝浦工業大学ブースとしてお祭りに参加



##### ③他団体の手伝い 展示準備、販売手伝い



#### (2) 他団体の団地での活動支援

##### ①大道芸サークルシャングリラのパフォーマンス





## ②風船の販売



初めての団地祭りの参加であったが、成功・反省点として

- ・ 芝浦工大生が参加したのは初めてということで多く団地の方が喜んでくれた
- ・ 芝浦工業大学のサークルの周知ができた
- ・ 参加団体に対して他の団地イベントへの参加依頼がきた
- ・ 他団体に対する広報の遅れにより、連絡不足で参加意欲のある団地に参加してもらえなかった
- ・ 急な連絡になってしまい、参加してもらえぬ団体が限られた

等があげられる。今後の課題として、来年のお祭りではもっと多くの学生たちに団地のお祭りに参加してもらえるように、事前準備が必要だと強く感じる。また、本プロジェクトを通して、他の団体が参加しやすいような環境づくりに努めたい。

今回のお祭り参加は芝浦工業大学の周知だけでなく、本プロジェクトの周知にもつながった。また、現在団地で活動を行っている“さいたまコープ”の方と今後の連携について話すことができた。

## ■今後の活動計画、目標、意気込みなど

本プロジェクトの後期の活動としてより学生を巻き込んだ取り組みを行っていく。

- ・ 芝浦工業大学の授業との連携  
学部生と院生の授業の一環として原市・尾山台団地の周辺環境または住民活動を取り上げていただき、その中で、学部生や院生に対してプロジェクトの目的・意味を伝え周知、発信を行う。
- ・ 店舗型のサテライトラボの新設(内装作業)  
原市団地のテナントの一部屋を新たに借り、より住民がサテライトラボに訪ねやすい環境の形成を目指す。また、ラボの新設に際し、研究室と協力し学生を主体とした提案から設計施工までを行う。学生に対し実務的作業の行う機会を提供し、一から内装をデザインし訪れるきっかけを与える。
- ・ 自治会活動の支援、手伝い  
自治会のイベントをより速く周知させ、多くの学内サークル・部活が参加できるように促す。
- ・ 住民活動の支援  
市民参加型の市で行われるイベントにも支援の依頼がある。  
上尾市市民体育祭、上尾市シティマラソン



	サテラボ企画				
	団地主催のプロジェクト	本プロジェクトの活動	サテラボ1 住居型	サテラボ2 店舗型	常設(通年)
10月	10.29イモ掘／ブルーベリー		内装づくり		コープとの連携による パラソルカフェ 
		ラボ開き		店舗づくり	
11月	11.19リースづくり				
12月		(仮)学生教室			
1月					
2月	2.18押し花づくり	(仮)学生教室			
3月				(仮)学生作品の展示	
	次年度の年間計画づくり				
4月					
5月					